

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和3年度)

調査表

施設名	県立青島亜熱帯植物園・宮崎県総合運動公園
指定管理者	一般財団法人みやざき公園協会
指定期間	令和3年4月1日から令和6年3月31日(3年間)
県所管部課	県土整備部 都市計画課 美しい宮崎づくり推進室

1 施設利用状況

指標	R3	R2	R1	増減理由等
青島亜熱帯植物園 (単位:人)	171,505	179,544	324,293	青島亜熱帯植物園は、新型コロナの感染症対策で大温室の閉館を行ったことや、青島地域への観光客が減少したため、来園者が減少したと考えられる。県総合運動公園は、新型コロナの感染症対策で有料公園施設閉鎖を行ったことにより減少したと考えられる。
運動公園内施設利用者 (単位:人)	598,130	469,805	1,219,602	
コメント	運動公園内の日本庭園やバラ園はホームページで旬な情報発信により婚礼前撮りなどの利用者が増加傾向にある。植物園は季節ごとのフラワーショーや展示会などのイベントを行い魅力の向上に努めている。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R3	R2	R1	支出	R3	R2	R1
指定管理料	144,194	139,096	138,646	人件費	62,369	62,617	65,447
自主事業等	5,552	6,470	12,691	需要費・役務費	27,540	25,386	26,787
				委託料・使用料等	27,380	25,883	29,482
				経費	16,683	15,854	17,799
				自主事業等支出	9,867	12,872	17,209
合計①	149,746	145,566	151,336	合計②	143,839	142,612	156,724
収支差額①-②	5,907	2,954	-5,388				
コメント	共有資材の活用や必要な消耗品は一括購入するなどして費用の縮減を図り、保有する大型機械により効果的・効率的な維持管理を行っている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和3年度に新たに組み込んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	園内清掃、トイレ清掃、噴水清掃、照明器具清掃
	保守・点検	浄化槽点検(月1回)、遊具専門点検(年2回)、遊具定期点検(年12回)、園内施設安全点検(連休前・夏期休暇前・年末年始前)、照明点検(月1回)
	警備	通常パトロール、夜間巡視(月2回)
	修繕	空調設備、倉庫シャッター、汚水マンホールポンプ、大温室銘板、大温室南側ガラス修繕 自転車競技場の裏面補修及び養生
	備品等管理	県貸与備品(原動機付自転車)の適正利用・管理
	安全対策	労働災害防止対策会議(年12回)、運動公園全体自衛消防訓練参加(年2回)、植物園自衛消防訓練実施(年1回)、普通救命講習受講
	その他	植栽管理業務(樹木・芝・花壇等)、動物飼育業務(鯉)、施設維持管理業務(園路・遊具・トイレ他)
企画運営業務	サービス提供体制整備	利用者アンケート調査、レンタサイクルの実施、カフェ設置、公園管理運営マニュアル勉強会、職員待遇研修等
	イベント等ソフト面充実	花の無料配布、トロピカルフルーツフェア、プーゲンビリアコレクション2021、おもしろタネの展示会、青島サンデーマーケット、宮崎の花旅365共通フォトフレーム設置、植物園ライブラリー
	施設設備等ハード面充実	植物園案内板の改正、案内板・誘導サインの強化及び多言語化、筆談ボードの設置、貸出用車いす、ベビーベッド・ベビーカー設置、日本庭園東屋畳替え、自動芝刈り機導入、枯損枝の除去等
	その他	「青島再勢プロジェクトメンバー」、地元地区活動への参加、自主事業時のアンケート調査、公園ボランティア(「バラクラブ」(総合運動公園)、「ガーデニングクラブ」(青島亜熱帯植物園))との協働等
管理運営体制	職員技能研修、個人情報保護教育、先進地視察、公園管理運営士等の資格取得、管理運営委員会等	
コメント	日々のパトロールや適切な人員配置を行うことにより利用者の安全確保に努めている。英語版のリーフレット作成や、ピクトグラム等を使用した公園の案内・注意喚起を行うなど、ユニバーサルサービスの提供にも力を入れている。全面的に施設の管理運営は適切に行われている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
(運動公園)島原地区の民家より公園内の大木のせいで日が当たらないとの苦情		土木事務所へ報告し、剪定。
(植物園)新型コロナによる自粛で、珍しい植物の開花の様子などが見られない。		Facebookで植物紹介と見頃情報を配信、花壇に適宜ポップを設置し紹介した。

5 総合評価

評価コメント	公園管理運営に必要な教育を幅広く実施し、必要な資格取得・講習を受講している。また、施設・設備類の保守点検は徹底して取り組んでいる。青島の自然や亜熱帯植物を五感で学ぶ仕掛けをつくり、楽しみながら学習できるイベントや講習会を開催するなど、「緑の中のスポーツ公園」「トロピカル植物園」としてのブランド力を発揮できるよう、公園の魅力のみならず、公園の歴史や花みどり文化などの情報発信に努めている。
今後の課題と対応	運動公園においては、引き続き競技大会やキャンプ等の大規模イベントを踏まえた維持管理や津波に係る防災対策の充実を行っていく。植物園においては、他施設との連携や利用者増加のためにSNSなどを活用した魅力のPRなど、より一層の工夫が求められる。